

2021年6月2日

報道関係者各位

株式会社日本トリム

奈良県立医科大学の試験にて確認 新型コロナウイルスを99.99%以上不活性化 (次亜塩素酸水)

整水器を製造販売している株式会社日本トリム（本社：大阪市、代表取締役社長：森澤紳勝）は、奈良県立医科大学微生物感染症学講座及び一般社団法人MBTコンソーシアムの協力のもと、当社技術を用いた貯槽式次亜塩素酸水生成器で生成した次亜塩素酸水の新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）不活性化について評価を行いました。結果として、新型コロナウイルスを20秒で99.95%以上、40秒で99.99%以上不活性化することを確認しました。

■新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）不活性化についての評価

<試験概要>

試験品として当社技術を用いた貯槽式次亜塩素酸水生成器で電気分解し作製した次亜塩素酸水（電解型、平均有効塩素濃度96.4ppm、平均pH6.04）を用いた。

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）（感染価 $1.00 \times 10^7 = 10,000,000$ 個）をこの次亜塩素酸水と0秒、20秒、40秒、60秒間作用させた後に、培養細胞に感染させ、その感染価と減少率をプラーク法により調査した。調査は2回行い平均値を算出した。

<試験結果>

作用時間	0秒	20秒	40秒後	60秒後
感染価（PFU/ml）	1.00×10^7	4.00×10^3	検出限界以下	検出限界以下
減少率（%）	—	99.955%	99.997%以上	99.997%以上

感染価：ウイルスに感染した細胞の個数を反映している。

検出限界値：200未満

本試験で使用した次亜塩素酸水（電解型）は新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）を速やかに不活性化することが判明した。なお、浮遊するウイルス、人体への影響については検証を行っていません。

本試験結果以下よりご覧いただけます。

<https://www.narmed-u.ac.jp/university/kenkyu-sangakukan/oshirase/mbtsars-cov-2-page3.html>

■奈良県立医科大学とは

奈良県立医科大学は、Medicine-based Town（医学を基礎とするまちづくり）をコンセプトに、産業創生やまちづくりに医学の知見を注入するという構想のもと活動に取り組んでいます。

- 創立年月：1945年(昭和20年)4月創立
2007年(平成19年)4月地方独立行政法人化
- 理事長・学長：細井 裕司
- ホームページ：<https://www.naramed-u.ac.jp/>

■一般社団法人 MBT コンソーシアムとは

MBTコンソーシアムは、医学的知識をすべての産業に投入してイノベーションを起こすMBT（Medicine-Based Town、医学を基礎とするまちづくり）の理念を達成するために設立された一般社団法人で、現在ほぼすべての業種から190社以上が参加しています。

- 設立年月：2016年(平成28年)4月設立
- 理事長：細井 裕司
- ホームページ：<http://mbt.or.jp/>

■日本トリムとは

株式会社日本トリムは、医療機器である電解水素水整水器製造販売を主軸とした事業を展開しています。当社は世界に先駆けて水が持つ機能に着目し、25年以上にわたる産官学共同研究により健康に寄与する電解水素水の機能、有用性を追求しています。現在では、電解水素水の活用は飲用にとどまらず、血液透析における次世代新規治療法や農作物の栽培など様々な分野へと応用し展開しています。また、グループ会社では国内最大の民間さい帯血バンク事業を展開するなど、日本トリムグループはグローバルなメディカルカンパニーを目指しています。

- 設立年月日：1982年(昭和57年)6月12日
- 代表取締役社長：森澤 紳勝（もりさわ しんかつ）
- 資本金：992,597,306円
- 従業員数：576名（関連会社等を含む）
- 企業ホームページ：<https://www.nihon-trim.co.jp/>

<本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ・ご質問>

株式会社日本トリム 広報窓口 浅尾（関東エリア）TEL：03-5511-8660
平井（関西エリア）TEL：06-6456-4633
E-mail:pr@nihon-trim.co.jp